Scope3 への取り組み

2023年9月29日現在



三菱食品グループは、食のビジネスを通じた持続可能なサプライチェーンの実現に貢献するため、当社の事業活動に関わる CO2 排出量(Scope 1、2)に加え、社会全体のカーボンニュートラル実現に向けてサプライチェーン全体の CO2 排出量(Scope 3)を測定し、可視化しました。

Scope 1、2 排出量について

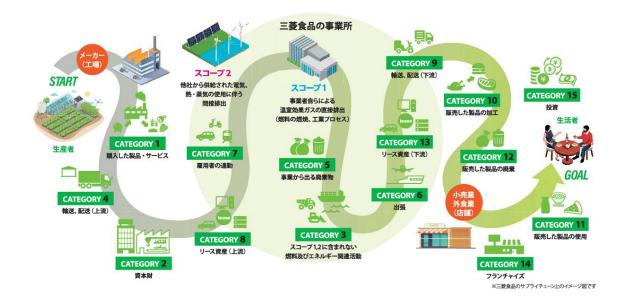
当社グループでは Scope 1、2の CO2 排出量を 2016 年対比で 60%の削減を目標としております。 節電の徹底、採用機器類の早めの更新をはじめ、種々の装置により CO2 排出量削減に努めています。

	2016 年度 (基準年度)	2020年度	2021 年度	2022 年度	2030年度
CO2 排出量 (t-CO2e)	90,223	73,407	68,013	42,778	36,089

Scope 3 排出量の測定に関する考え方

当社は、気候変動がもたらす移行リスクにおいて、サプライチェーン上の CO2 排出量が当社事業に大きく影響するものと考え、サプライチェーン全体の CO2 排出量削減への第一歩として、2022 年度期中より Scope 3 可視化に着手しました。先ずは、三菱食品単体の測定を実施し、順次グループ会社へと拡大してまいります。

■当社サプライチェーン上のイメージ図



Scope 3 排出量の測定内容及び結果

(1) Scope 3 排出量の測定内容

当社における Scope 3 の測定内容は以下のとおりです。

	Scope 3 測定内容		
対象年度	2021 年度実績		
測定範囲	三菱食品単体		
対象カテゴリーNO.	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 12, 13		

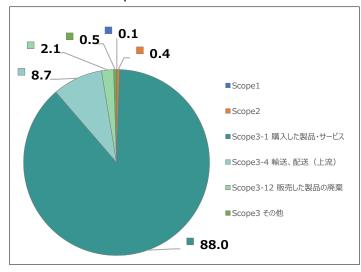
(2) Scope 3 排出量の測定結果

当社では、2021 年度の実績ベース算定(暫定)で Scope1、2 は 68.0 千 t-CO2e(全体の 0.5%) に対し、Scope 3 は約 12,983 千 t-CO2e(全体の 99.5%)となっております。

■各カテゴリーにおける CO2 排出量の測定結果(2021 年度)

排出量内訳		CO2 排出量 (t-CO2e)	全体構成比 (%)	Scope 3内 構成比(%)
Scope1		14,679	0.1	-
Scope2		53,334	0.4	-
カテゴリー1	購入した製品・サービス	11,484,278	88.0	88.5
カテゴリー2	資本財	13,122	0.1	0.1
カテゴリー3	Scope1,2 に含まれない燃料及 びエネルギー関連活動	9,256	0.1	0.1
カテゴリー4	輸送、配送(上流)	1,137,647	8.7	8.8
カテゴリー5	事業から出る廃棄物	1,395	0.0	0.0
カテゴリー6	出張	836	0.0	0.0
カテゴリーフ	雇用者の通勤	3,436	0.0	0.0
カテゴリー8	リース資産 (上流)	50,780	0.4	0.4
カテゴリー9	輸送、配送(下流)	3,028	0.0	0.0
カテゴリー10	販売した製品の加工	対象外	-	-
カテゴリー11	販売した製品の使用	対象外	-	-
カテゴリー12	販売した製品の廃棄	278,975	2.1	2.2
カテゴリー13	リース資産 (下流)	700	0.0	0.0
カテゴリー14	フランチャイズ	対象外	-	-
カテゴリー15	投資	対象外	-	-
Scope3 計		12,983,453	99.5	100.0
合計		13,051,466	100.0	

■ Scope1~3 排出量構成比(%)



当社では、食品流通におけるフルカテゴリーの商品を取り扱っており、多くのサプライヤー様から商品調達を行っています。そのため、Scope 3 のうち

- ・カテゴリー 1 (購入した製品・サービス)
- カテゴリー4 (輸送、配送(上流))
- ・カテゴリー12 (販売した製品の廃棄)
- で Scope $1 \sim 3$ 合計の 98.8%を占めて いる測定結果となりました。

CO2 排出量削減のための措置

2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、中長期的な CO2 排出量目標の設定やサプライチェーン上の企業各社との連携による削減アクション実施に努めるほか、Scope 3 測定手法等の課題についても解決に向けて、取り組んでまいります。